

平成28年度 理数科課題研究ポスターセッション

日 時 平成29年2月16日(木) 5～7限

会 場 米原高校

理数棟2階：化学室(化学A・化学B) 理2講義室(数学・情報)

理数棟3階：地学教室(地学A・生物A) 理3講義室(生物B・生物C)

物理教室(物理A・物理B)

日 程 13:20～14:14 発表Ⅰ
(発表4分、質疑応答8分、移動2分を4セット)

14:25～15:05 発表Ⅱ
(発表4分、質疑応答8分、移動2分を3セット)

15:15～15:55 発表Ⅲ
(発表4分、質疑応答8分、移動2分を3セット)

16:00～16:20 閉会行事
講評(滋賀県立大学 倉茂好匡 教授)
謝辞(学校長)

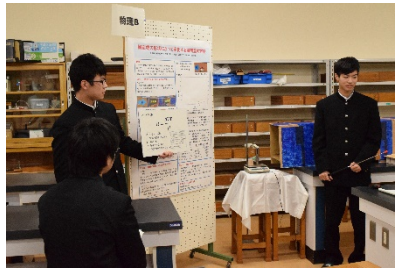
対 象 (1) 大学関係より2名
(2) 他校より7名
(3) 保護者、卒業生など8名
(4) 在校生(1年理数科40名、2年理型41名+40名)

研 究 物理A：竹とんぼのよく飛ぶ条件
物理B：構造物の形状によって変化する風荷重の解明
化学A：ヒトの言葉が持つ力
化学B：よりよいルミノール発光を目指して
生物A：ゾウリムシの走性と繊毛運動
生物B：マツの種類による気孔の性質と汚れ方の違い
生物C：ジャガイモ緑化防止の新発想 ～エチレンの利用～
地学：流星の密度計算の予備的研究
数学：正多面体に張るシャボン膜の最小面積
情報：JavaScriptを用いたソフトウェアの製作

発表の様子
物理 A



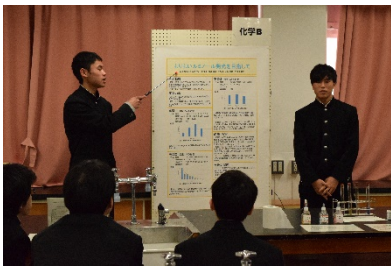
物理 B



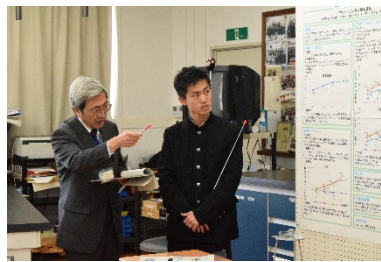
化学 A



化学 B



生物 A



生物 B



生物 C



地学



数学



情報

